

ちよだ 区議会 だより



No. 255

令和3年11月26日
編集：区議会だより編集委員会
発行：千代田区議会
〒102 - 8688 千代田区九段南 1-2-1
☎ 03-5211-4297 (直通)
ファクシミリ 03-3288-5920

第3回 定例区議会



一般社団法人 千代田区観光協会 第4回東京大回廊写真コンテスト 入賞作品「北の丸公園紅葉」増田ヒロ子

トップニュース

Top News

令和2年度千代田区各会計歳入歳出決算を認定

■歳入919億1,601万789円、歳出872億6,352万3,435円、差額46億5,248万7,354円の決算が認定されました。

令和3年度千代田区一般会計補正予算第3号、第4号を可決

■第3号は「私立保育所等運営補助」、「総合支援事業」、「地域生活支援事業」、「生活環境改善推進」、「小規模事業者緊急経営支援事業」及び「予備費」として、補正前の額 643億3,669万1千円に、9億4,799万7千円の予算額が追加されました。

■第4号は「感染症予防・医療対策」及び「新型コロナウイルスワクチン接種対策」として、補正前の額 652億8,468万8千円に、8億2,373万3千円の予算額が追加されました。
(詳細は8ページをご覧ください。)

主な内容

- 代表質問 2面
- 一般質問 3～ 5面
- 定例区議会活動報告等 ... 6～ 8面
- 本会議における討論等 ... 9～11面
- 議案の審議結果等 12面

提案された議案等

- ◆区長提出議案
 - ・ 予算 2件
 - ・ 決算 1件
 - ・ 条例 5件
 - ・ 契約 1件
 - ・ 指定管理者の指定 3件
- ◆議員提出議案
 - ・ 人事 2件
 - ・ 報告 4件
 - ・ 意見書 1件
 - ・ 決議 1件
- ◆請願 1件



●ホームページアドレス
<https://gikai-chiyoda-tokyo.jp>



●メールアドレス
kugikai@city.chiyoda.lg.jp

●公式 Twitter
[@Chiyoda_Kugikai](https://twitter.com/Chiyoda_Kugikai)

*区議会だよりは、新聞折込で配布しています。購読していない区内在住・区内事業者の方には郵送いたします。また、音声版(CD)、点字版も作成しています。区内在住でご希望の方は、区議会事務局 ☎03-5211-4297(直通)までご連絡ください。
区議会だよりは区議会ホームページでもご覧になれます。また、区議会の最新情報をお届けする「区議会公式Twitter」も発信していますのでぜひご利用ください。

令和3年第3回定例区議会

一般質問 (要旨)



議員紹介はこちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、QRコードから録画映像にアクセスできます。

西岡 めぐみ (自民)



子どもたちへの東京五輪レガシー

問 五輪選手や大会運営に携わった建築家やクリエイター等と子どもが接点を持てる機会を提供し、五輪レガシーが記憶に残る行事を行っては。

答 学校や園等で選手やアーティスト等との交流も視野に、子どもたちの心と体に残る様な行事を実施していく。

学校園の感染症対策とICT化

問 ①学びの保障の為に、施設改修面でも衛生環境を維持すべく感染予防策を行い、保護者向けアンケートも現場で活用すべき②ICT化で各園でのバックヤード業務負担軽減をすることで、保育の質の向上にも繋がる。園情報を円滑に保護者と共有できる環境整備を。

答 ①非接触型の自動水栓への改修等現場ニーズに応じて改善する②ICTを活用し保育環境の整備、園運営充実に取り組む。

河合 良郎 (自民)



児童虐待の現状と児童相談所設置

問 ①親のストレスや孤立による虐待がコロナ禍で急増している。区の対応は②児童相談所が設置可能となって6年が経過したが、進捗状況や課題は。

答 ①虐待に対する相談へは迅速に訪問調査などを行うとともに、コロナ禍を踏まえオンライン相談等にも着手した②専門人材の確保や育成などが課題。庁内検討会で検討を進めるとともに、児童・家庭支援センターの機能強化に努める。

スポーツの基本計画とSDGs

問 スポーツの持つ力を活用することでSDGsの達成に貢献できると考える。改定予定のスポーツ振興基本計画にSDGsの基本理念等を掲載しては。

答 改定計画に用語の記載はないが、当該計画上の理念はSDGsの基本理念と軌を一にするものである。

大串 ひろやす (公明)



コロナの影響を最も受けている子どもと親への支援拡充を!

問 コロナの感染拡大防止に社会を挙げた取組みは大いに必要である。他方、長引くコロナ対策は子育て中の親を疲弊させ、また子どもたちを怖がらせている。ややもすると母親一人に育児に孤軍奮闘させることとなっていなかったか。今こそ、子どもと親への支援、そして親と子の関係性への支援を地域全体で行うことが必要である。そこで、これら支援についてどう行っていくのか。また具体的な事業は何か。

答 コロナ禍での子育ては想像以上に困難であると認識している。よって、子どもと親の育ちを地域全体で支えることが重要。孤立した“孤育て”とならないよう親と子の関係性に重きをおいた支援をしていく。具体的には、子育て支援員養成講座や一時預かり保育、子育てひろば事業等一層の推進を図る。

大坂 隆洋 (自民)



就職氷河期世代支援の諸課題

問 ①社会全体の重要課題である就職氷河期世代の支援について、区が果たすべき役割があると考えが見解は②本区は昨年度から、当該世代を対象とする特別区職員採用試験による採用を行っているが、今後も積極的に活用していくべき③民間企業との連携は重要であり、中小企業支援施策に、当該世代の積極的な採用を支援する視点を盛り込む必要があるのでは。

答 ①雇用対策は、一つの自治体での取組みには限界があるが、国や都と連携を図り、就業及び雇用の情報共有等に取り組むことを検討する②特別区の各種採用制度を積極的に活用しながら、年齢構成を考慮した職員採用に取り組む③経営相談、企業の創業や成長支援等、中小企業支援施策の中に、当該世代の支援についての視点を盛り込むことを検討する。

池田 ともりのり (自民)



地域コミュニティの活性化について

問 ①コロナ禍における地域コミュニティ活性化には出張所の果たす役割が重要である。かつての地域教養講座を再考しては②ちよだ生涯学習カレッジは地域コミュニティへの参加に繋がる人材育成が期待される。成果と課題は。

答 ①地域教養講座の役割を再考しつつ、新しい生活様式に合った地域コミュニティ活性化の取組みを出張所の役割と併せて検討する②卒業生は町会等、地域の様々な分野で活躍している。一方、カリキュラムの途中で辞める方がいることから履修期間を見直した。今後も地域社会に貢献できる人材を育てる学びの場となるよう、運営していく。



令和3年第3回定例区議会

一般質問 (要旨)



議員紹介はこちら

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、QRコードから録画映像にアクセスできます。

長谷川 みえこ (紡ぐ会)



福祉避難所開設までの支援体制

問 緊急避難で何も持てずに避難した高齢者や障害者等の災害時要支援者が必要とする最低限の医療的ケア用品の整備について検討しているか。

答 避難所では、けがなどの応急手当用品を備蓄している。医療ケアは福祉避難所開設後の対応となるため、日常使っている医療ケア用品等は、自ら事前に備えるよう普及啓発を進めている。

避難所の仮設トイレについて

問 被災地では仮設トイレに長蛇の列ができ、子どもや高齢者等が使用を控えるなどの問題が生じている。避難所利用者だけではなく、近隣住民も使用できるトイレの数が備蓄されているか。

答 各避難所のトイレは、避難者数に応じて備蓄している携帯トイレの活用を基本とし、在宅で避難している方の分も含めて備蓄している。

うがい 友義 (自民)



メタヴァース秋葉原の可能性

問 先進企業とコンテンツ文化の集積地・秋葉原を擁する区には「メタヴァース」を誕生させ、新たな経済・産業を生み出す土台がある。メタヴァース秋葉原を誕生させる等、未来のデジタル社会の可能性で区の魅力を高めては。

答 秋葉原のサブカルチャーや神保町の古書店等の地域資源とデジタル技術を組み合わせた取り組みは、新たな産業へと発展していく可能性もあり、デジタル技術を活用した地域ブランディングは手法の一つとして有効と考える。

※メタヴァース:サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたインターネット上の仮想空間のこと。



林 則行 (自民)



区民歯科健診のDX

問 問診・記録票をデジタル化することで、DXを推進できないか。

答 デジタル化でデータを集約・結合することで、多角的な見方が実現できる。DX推進の観点からPHRの有効活用を図り、区民全体の健康に資するシステムの研究を進めていく。

コロナ禍の避難所収容可能人数

問 地区人口16%を想定した収容可能人数の限界を超える避難所がある。コロナ禍を踏まえた対策は。

答 収容能力の拡大や新たな避難所で運営協議会を立ち上げる対策もあるが、課題も多く慎重に検討する必要がある。

避難所	地区人口	想定避難者数(16%)	収容可能人数(1人あたり2.11㎡)	
麹町小学校	8619	1379	1374	100%
九段小学校	9170	1467	1572	93.3%
番町小学校	3102	496	876	56.6%
麹町中学校	3252	520	807	64.5%
富士見みらい館	10227	1636	1657	98.7%
お茶の水小学校	4000	640	591	108%
神田一橋中学校	3927	628	1248	50.3%
神田さくら館	2493	399	761	52.4%
高平斎堂館	5402	864	1550	55.7%
アーツ千代田3331	1103	176	564	31.2%
ちよだパークサイドプラザ	3775	604	1008	59.9%
旧今川中学校	2575	412	437	94.2%
都立一橋高校	2810	450	658	68.3%
区立スペースセンター	2704	433	1133	38.2%
習志野ほろみプラザ	3857	617	660	93.5%
合計	67140	10742	14895	72.1%

小野 なりこ (都ファ)



子どもを産み育てやすい環境整備

問 ①区では地方への里帰り出産の場合、乳幼児予防接種への助成がある。里帰り育児でも予防接種を適切な接種年齢で安心して受けられるよう無料化を求める②区立児童館4館について、日曜日の交代制開放から一斉開放への拡充を求める③保護者や保育者からの日常的な意見にこそ保育の質向上のヒントがある。意見を収集し必要な環境整備を支援するための仕組みづくりを求める。

答 ①現状、予防接種が無料となる制度がないため、調査・検討する②安全な児童館運営の継続という点を考慮すると、ただちに4館一斉開放を実施することは難しい状況だが、段階的な拡充を含め検討する③保護者と園と一緒に子どもを支えられる環境を整えるため、各園に適した意見集約の方法を検討し、保育の質向上に努める。

小林 やすお (自民)



ドライ型ミスト設置について

問 ヒートアイランド対策であるドライ型ミスト設置助成について①平成30年度、元年度の2年間の助成実績について、設置場所や助成額の妥当性はどうか②助成額等を大幅に減少した結果、申し込み実績が無くなった。民間の設置に頼らず、区が全ての区立公園等に設置することの検討は。

答 ①公共に準ずる場等で不特定多数に涼を提供できることを条件とした。設置には電源等の設備が必要であり、風雨に対する耐久性を持たせるため助成額が高額となった②公園改修に併せ設置を進めるとともに、商店街等と連携して道路への設置を検討する。



区立九段坂公園



令和3年第3回定例区議会

一般質問 (要旨)



議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、QRコードから録画映像にアクセスできます。



岩田 かずひと (立民)



超高層とバードストライク対策

問 野鳥の死因は高層ビル等に衝突するバードストライクが多い。世界的に野鳥を守ろうという動きがあるなか、区は指導等の対応を考えているのか。

答 原因は高層ビルに限ったものではなく、明確な原因の特定ができていないため、指導等は考えていない。

区長招集挨拶について

問 ①第3次基本構想の見込み人口を既に突破したにもかかわらず、人口増加のための容積率緩和を続けるのか
②ゼロカーボンの実現には国等の指針より厳しく律する必要があるのでは。

答 ①開発諸制度等による容積率緩和は、人口増加のみが目的ではなく、環境技術の導入や防災面での強靱化等の効果につながる②中期目標の重要性は認識しており、さらに踏み込んだ取り組みを模索しながら適切に対応する。

牛尾 こうじろう (共産)



中小ビルを活かしたまちづくり

問 ①既存建物を活かしたまちづくりについて、リノベーションスクールを開催する等の情報発信を②まちづくりを進める上で大事な役割を担う中小ビルオーナーへ聞き取り等、実態調査を。

答 ①ちよだプラットフォームスクウェアではリノベーション・エリアマネジメント等に取り組んでおり、その情報発信や発展を支援する②調査の目的や対象等、様々な観点から検討が必要であり、関係部署と連携を図る。

子どものタブレット使用の影響検証を

問 一人一台タブレットの導入から1年が経過した。ブルーライトによる視力への影響や長時間使用による脳への影響等、定期的に検証が必要では。

答 児童・生徒の健康への影響を考慮し、定期的な検証の必要性について研究しつつ、ICTの活用を進める。

たかざわ 秀行 (自民)



乳幼児の新型コロナ感染対策

問 感染力が強く重症化率が高いデルタ株により、子どもの感染も増え、乳幼児の重症例も報告されている①区の乳幼児の重症事例への対応策は②家庭内感染が増え、親が感染し乳幼児が残された場合等の対応策は。

答 ①中等症までは、区の確保した病床で入院対応が可能である。人工呼吸器が必要になるなど重症化した場合は、対応できる指定医療機関に対し、都を介して入院要請を行う②親族の方に見てもらうことが基本だが、困難な場合は、児童・家庭支援センター等と連携し対応する。なお、乳幼児も陽性の場合、入院できる体制となっている。



飯島 和子 (共産)



再開発予定地内の区有地の扱い

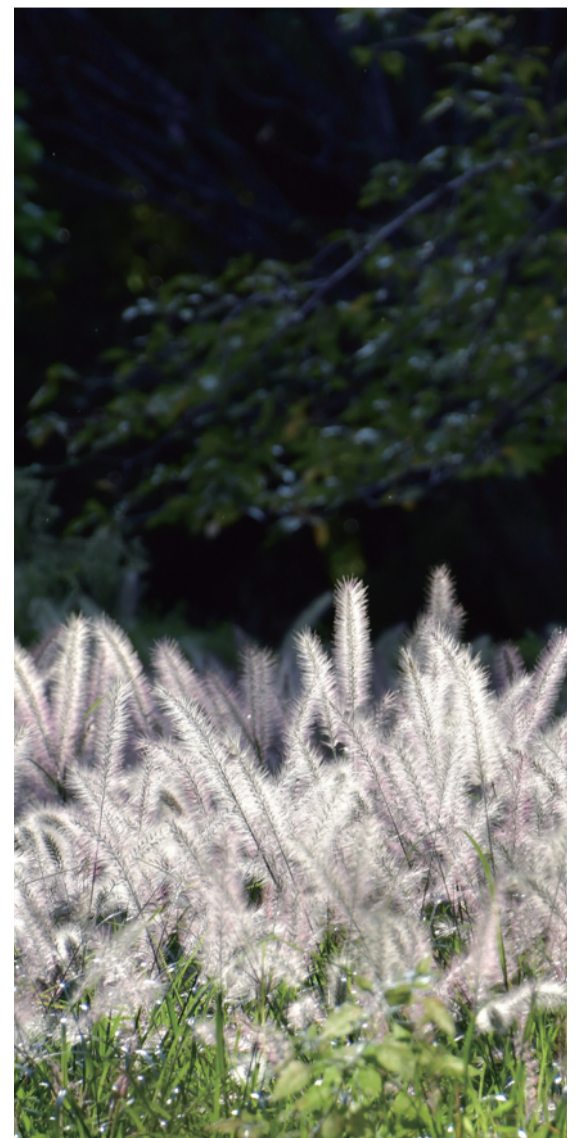
問 富士見二丁目3番街区再開発予定地域には、区民共有の貴重な財産である区有地が含まれている。区有施設の活用方法と、民間施設と一体化整備にするか否かは区民の声を聴き慎重に決めるべきだ。どの様に反映させるのか。

答 都市計画法のルールに照らし合わせながら、区有財産活用の議論と合わせて方向性の検討を進める。

九段中等教育学校の願書の性別欄

問 入学願書の性別記入の強要は、性的少数者に門戸を閉ざすことになる。現在公立学校で主流の、男女別の定員を設けない募集とし、区として主体的に願書の性別欄を廃止すべき。

答 母体が都立校であった経緯や移譲の条件等により、今すぐ区独自で変更できる状況にはない。都の見直しに沿って男女別定員制度を検討していく。



令和3年第3回定例区議会

定例区議会活動報告

常任委員会



常任委員会では、区長提出議案9件を審査しました。議案の審査経過をご紹介します。
なお、審議結果は12ページをご覧ください。

企画総務委員会

議案6件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「**神田警察通りⅡ期自転車通行環境整備工事請負契約について**」は、工事に関する請負契約を締結するもので、制限付一般競争入札で選定し、契約金額は3億7,816万6,140円、契約相手方は大林道路株式会社です。

<審査経過>

質疑の中で、区民への周知や、意見をいただいた方への個別説明等を丁寧に進めていること。道路空間に適した樹木へ更新することで、将来にわたりコスト増にならず、適正な維持管理を行えると考えていること。神田警察通りの工事は5期までの予定であり、一つの道路として一体感が必要なこと。

沿道全体の観点から、沿道整備推進協議会で方向性をまとめ、それを踏まえ、安全・安心を基本に機能更新をしていくこと。協議会での約10年間の議論、沿道の方々へのアンケート調査、専門家意見等、様々な意見があるが、整備方針は、協議会ではほぼ全会一致で合意されていること。それを核としながら、今後も広く意見を聞き、対話の下で道路整備、公園整備、まちづくりを進めていくこと。

今後、協議会における議論の情報共有や検討体制、検討手法については見直しを図ること等が明らかになりました。

<討論>

【反対の意見】

整備に当たり、沿道住民の意見を酌み取る努力が不十分。アダプト制を見据えると、まだ機が熟していない。皆が参加し喜べるまちづくりを追求することを求め、反対する。(木村)

今までの住民と新しい住民が、共にこのまちをよくしようと対話し合意する中で整備を行うのが、まちづくりのエネルギーになると思う。そうではないことから、反対する。(小枝)

【賛成の意見】

協議会の決定は、10年余の議論が積み上げられ、まとめられたもので、十分に重視すべき。また、本工事は、当該地域の課題解決と魅力創出に寄与する。引き続き丁寧な説明と理解を得られるよう努力することを求め、賛成する。(大坂)

歩道や自転車レーンだけを基準どおりに設計するのではなく、街路樹や人の生活も総合的に計画、設計すべき。この姿勢を持ち以降の工事を行うことを要望し、賛成する。(大串)

その他、「**千代田区個人情報保護条例の一部を改正する条例**」などの5議案の審査をしました。

地域文教委員会

議案3件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「**千代田区立図書館の指定管理者の指定について**」は、区立図書館5館の指定管理者の指定期間が満了することに伴い、令和4年4月1日から令和9年3月31日までを指定期間として、千代田ルネッサンスグループを指定するものです。

<審査経過>

質疑の中で、効率的な運営による経費縮減を図るとしているが、蔵書や資料、サービスなどに係る費用は縮減せず、今後もしっかりと行っていくこと。募集要項において、図書館業務に従事する職員のうち司書を6割以上配置することを要望し、高い専門性を担保していること。図書館業務の継続性や専門性は、区と指定管理者で結ぶ基本協定に基づき、区が図書館運営における方針や方向性を指導・監督・助言していくこと。区は、指定管理の在り方を検証するとともに、目指す図書館を実現する指定管理者の選定が極めて重要であり、図書館業務のサービスを高め、それを伸ばしていくための、次の5年間を見据えた対応をしていかなければならないと認識していること等が明らかになりました。

<討論>

【反対の意見】

今回選定された候補者が本や読書の魅力を発信しようと様々な工夫や努力をしていることは大変評価しているが、図書館事業は一貫した方針で継続して行うことが求められており、指定管理者制度で継続性は望めない。指定管理者による運営がふさわしいのか再考を求め、反対する。(牛尾)

【賛成の意見】

今回の指定管理者候補者は図書館運営において豊富な経験と実績を有しており、今後も安定した運営のもと、利用者ニーズに合わせた高いレベルのサービスの提供が期待できること、さらなる利用者の利便性の向上を図ることを要望し賛成する。(山田)

その他、「**千代田区立九段生涯学習館の指定管理者の指定について**」「**千代田区立スポーツセンターの指定管理者の指定について**」の2議案の審査と、令和4年度入学神田一橋中学校(通信教育課程)の生徒募集について、キャッシュレス決済を活用した地域経済活性化事業の第2弾実施について、秋葉原地区における客引き防止対策の取組みについて等の報告がありました。

常任委員会



保健福祉委員会

主な報告事項は以下のとおりです。

「指定管理施設に関するモニタリングについて」は①モニタリング全体の概要②障害者福祉センターえみふるの労働環境モニタリング結果③岩本町ほほえみプラザの経営・財務モニタリング結果等が報告されました。

質疑の中で、区民サービスを向上させるための指定管理者制度であり、事業の効果と、利用者の声を反映して改善につなげていくことが確認されました。

「自宅療養者の現状と対応について」は、新型コロナウイルスに感染した自宅療養者に対する支援策として①パルスオキシメーターの貸与②酸素濃縮器の活用③食品配給④医師会所属の協力医療機関による電話・オンライン診療や往診⑤訪問看護ステーションとの連携による医療支援体制の強化⑥区内協力病院の外来受診や病床の確保等が報告されました。

質疑の中で、第5波の最中であっても、区内で入院する必要がある方はほぼ入院できたこと。自宅療養中に亡くなった方はいなかったこと等が明らかになりました。

「介護保険利用者負担上限額変更等の影響について」は、令和3年8月から①介護保険利用者の1か月当たりの負担上限額が見直され、2段階新設されたこと②低所得の人が介護施設を利用した時の負担限度額の段階区分、食費等が一部変更されたこと等が報告されました。

質疑の中で、全国一律に行われた制度改正であること。その趣旨は、負担能力に応じた負担を図るためのものであること等が明らかになりました。

「新型コロナウイルスワクチン接種の現状と今後の予定について」は①対象者に対する接種割合は、10月4日時点で1回目80.4%、2回目74.3%となったこと②今後は順次集団接種を終了し、個別接種のみとする予定であること③3回目接種に関する国の方針は、令和3年12月開始予定で、接種間隔は2回目接種後8か月以上必要となること等が報告されました。

その他、PCR検査費用の助成対象期間の延長について、ジロール麹町地域密着型特別養護老人ホームの増床について、路上における弁当類の販売状況について、HPVワクチンに関する情報提供及び接種期間についての報告がありました。

特別委員会



環境・まちづくり特別委員会

「六番町偶数番地地区地区計画」や「外神田一丁目南部地区再開発事業」の陳情審査が行われ、地区計画については、検討状況、経緯の報告があり、住民意見の聞き方やマンション建て替え問題への対応等の検討が必要なことを確認しました。また、再開発事業については、事業収支概要や権利者同意状況等を確認しました。

その他、富士見二丁目3番地区等の報告がありました。

公共施設調査・整備特別委員会

当委員会で調査研究する各施設のうち、軽井沢少年自然の家についてはあり方検討協議会を2回開催し、現状や課題の確認、意見交換を実施したこと。旧箱根千代田荘については現在実施している調査検討の状況に関して報告がありました。また、公共施設整備の基本的な考え方については、今年度は庁内の会議体で議論しながら整理し、今後、さらに内容を精査しながら具体的な施設検討への活用などを図ってきたいとの報告がありました。

災害対策・危機管理特別委員会

区内15避難所ごとの概況について、報告がありました。

そのなかで、想定避難所生活者数は人口の16%、収容可能人数は避難スペースを1人あたり2.11m²として算出したもので、一部の避難所には逼迫した状況に対応する課題があることが確認されました。また、各避難所に防災士を確保するためには、資格取得経費の助成を拡大するなど、検討が必要との意見がありました。

議会のあり方調査検討特別委員会

前回の委員会で委員から出された今後の検討項目のうち、①三役(区長、副区長、教育長)の常任委員会への出席②決算審査時の議選監査委員についての進捗状況を確認しました。また、その他の検討項目については、優先順位をつけて次回以降の委員会で具体的に調査・検討していくこととしました。



予算・決算特別委員会

当委員会に付託された3議案の審査経過及び結果は次のとおりです。

「令和3年度千代田区一般会計補正予算第3号」は、「私立保育所等運営補助」、「総合支援事業」、「地域生活支援事業」、「生活環境改善推進」、「小規模事業者緊急経営支援事業」に関する経費及び「予備費」を追加計上したものです。

＜審査経過＞

質疑の中で、私立保育所等の運営事業者が心配なくしっかり保育ができるよう、児童が笑顔で毎日保育園に通えるよう、今後とも努力していきたいと区が考えていること。

小規模事業者緊急経営支援事業について、商工会議所や区内の金融機関などと連携しながら、多くの方に幅広く利用されるように周知活動を強化し、今後も、小規模事業者に対して手厚い支援をするような事業展開をしていきたいと区が考えていること。

(仮称)四番町公共施設整備について、区が今後も全庁的に取り組んでいきたいと考えていること。

などが明らかになりました。

「令和3年度千代田区一般会計補正予算第4号」は、「感染症予防・医療対策」及び「新型コロナウイルスワクチン接種対策」に要する経費を追加計上したものです。

＜審査経過＞

質疑の中で、感染症予防・医療対策については、自宅療養者等への支援に関して、保健所から訪問看護ステーションに健康観察を依頼した自宅療養者の状況報告を必ずその日のうちに訪問看護ステーションから受けることになっている。訪問看護ステーションから連絡がつかない自宅療養者がいた場合は、保健所が対応すること等が明らかになりました。

質疑を終了し、採決の結果、いずれも賛成全員により可決すべきものと決定しました。



「令和2年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定について」は、多岐にわたる分野の調査が必要なことから、企画総務、地域文教、保健福祉の3つの分科会を設置し、詳細な調査を行いました。その後、多数の事項の質疑が行われ、総括質疑、討論に入り、次のような意見がありました。

＜討論＞

【反対の意見】

区民福祉の向上につながる重要な施策があることは評価するが、東京への一極集中を加速する流れが継続している。また、住民合意形成の努力が不十分なまま事業が進められている。さらに、新自由主義が貧困と格差を広げる中、その是正のための施策が弱く、弱者への支援が不十分であるため、反対する。(牛尾)

区が新型コロナウイルス感染症対策に誠心誠意取り組んでいることに敬意を表すが、区政における協働と参画ができていない。区が公有地や公共施設を後世に引き継ぐことを先送りし、再開発を進めることを先行させ、区民の土地、財産を

軽んじて安易な等価交換を進めようとしていることが明らかとなり、区民利益に反するため、反対する。(小枝)

区が新型コロナウイルス感染症対策に懸命に取り組んでいることには感謝するが、質疑を通じて、何か月もの間、課された宿題を未だに解決しておらず、区民に寄り添う姿勢が見られない。区民を見ないでただ突き進むだけのように感じられたため、総合的に勘案し、反対する。(岩田)

補助金交付基準について、公益性、必要性、公正性、客観性、透明性、公平性の視点を区が整理できないまま、補助金が交付されていることは、区民に対しての公表義務や区民の知る権利を阻害している。区有財産を含む外神田、飯田橋の再開発計画についても、区民への説明不足が明らかである。不信感を抱かれないよう透明性を求め、反対する。(長谷川)

【賛成の意見】

令和2年度決算については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策、団体支援や個人の生活支援、ICT教育の推進など、補正予算を逐次組みながら、区民の命と生活を守ることができたことを評価する。質疑に対してそれぞれ前向きな答弁があったが、来年度予算に反映することを要望し、賛成する。(米田)

区民の財産・生命を守るため、2年前の豪雨時の経験を踏まえた改善が進んでいない避難所運営協議会について早期に対応することに加え、新型コロナウイルス感染症対策について、必ず来るといわれる第6波に向けた対策の準備をはじめ、区民生活、地域経済を守るため、全庁を挙げて、議会と連携して迅速に対応していくことを求め、賛成する。(大坂)

2020年度は、感染症対策・臨時休校やリモートワークへの対応等、新型コロナウイルス感染症から区民の命と生活を守るための予算執行となった。各事業者への運営補助については、災害時であっても公平性、公正性、客観性が求められることを改めて確認し、今後も適正で効率的な執行に努めることを求め、賛成する。(岩佐)

令和2年度の執行率の全体的な傾向から、先の見えないコロナ禍で状況を見つつ、臨機応変に対応したことが読み取れた。振り返りと共に課題感も共有できた。今後よりよい区政運営に向けた検討や調整を求め、賛成する。(小野)

討論を終了し、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

令和2年度千代田区各会計歳入歳出決算額

(単位：円)

会計	歳入	歳出	差額
一般会計	79,350,132,042	76,528,868,511	2,821,263,531
国民健康保険事業会	6,584,060,394	5,223,813,391	1,360,247,003
介護保険特別会	4,206,368,594	3,841,475,442	364,893,152
後期高齢者医療特別会	1,775,449,759	1,669,366,091	106,083,668
合計	91,916,010,789	87,263,523,435	4,652,487,354

本会議における討論

今定例会では、次の意見書1件、請願1件を採決するにあたり、討論がありました。その要旨をご紹介します。

1. 成年年齢引き下げに伴う十代の消費者被害防止のための措置を求める意見書 **否決**

【反対の意見】

18歳、19歳の消費者被害防止に対し、政府は様々な環境整備の施策に取り組み、必要な措置は取られているものと考えられる。問題の根本的な解決には消費者契約法の充実を求めていることが本質であり、これについても政府で検討が行われている。問題意識には賛同するが、本議案に反対する。(大坂)

【賛成の意見】

民法改正により18歳、19歳は未成年者取消権の保護の対象から外された。若者の消費者被害が増加する懸念があり、国会でも法整備を求める附帯決議が全会一致で可決されたが、対策は十分に行われていない。法整備や十分な対策の具体化を後押しするため、本議案に賛成する。(牛尾)

2. 東京地方検察庁がした不起訴処分に対する検察審査会への不服申立てを求める請願 **不採択**

【反対の意見】

100条調査権は、地方公共団体の事務に関する調査の権限を議会に与えているものである。区議会では、既に調査を終え最終報告書を承認しており、調査の役割は果たせたものと認識している。今、区議会が果たすべき役割は再発防止策に真摯に取り組むことであることから、反対する。(飯島)

前区長の偽証に対しては資料取扱い上、公平、正当な調査の前提を欠きその一方の事業者の回答のみをもって偽証としていることは不当である。前区長夫人の証人喚問についても事務執行に関する事で、なぜ証人喚問が必要なのかが明らかにされず、召喚手続きに問題がある。よって請願に反対する。(大串)

本処分を覆すには、新たな有力な証拠の提出が必要なこと、不服申立てには一定の期間と経費を要することやコロナ対策に優先的に取り組む必要がある中、長期化することは区民の理解を得難い。100条調査の目的は再発防止を求めることであり、その役割は果たしていると考え、反対する。(小林や)

【賛成の意見】

今回の告発が不起訴となるならば、地方議会が地方自治体の不祥事を正し疑惑を解明する事が不可能となり、地方自治の本旨を揺るがしかねない。大規模開発の結果、関係者が特別の利益を享受することがあってはならない。区議会が検察審査会に申立てを行わなければ、告発した罪が問われる機会が永遠に失われてしまうことから、本請願に賛成する。(小枝)



東京地方検察庁による 不起訴処分への対応について

千代田区議会は、令和2年3月の区議会予算特別委員会総括質疑における、区の総合設計制度を利用して容積率緩和を受けたマンションを、石川前区長らが優先的に購入したとされることに端を発した問題について、100条調査権を付与した企画総務委員会において、精力的に調査を進めてきました。

調査では、前区長らの区内2軒のマンション購入や、東京ミッドタウン日比谷の開発における区有地の無償貸し付けなどの事務執行について、様々な問題点や課題を洗い出しましたが、100条調査では解明しきれない疑惑もありました。

こうした中、100条調査における、前区長の証人尋問の際の偽証及び証言拒否については昨年8月26日付、同じく前区長夫人の証人出頭拒絶及び記録の提出拒絶については昨年11月27日付で、いずれも東京地方検察庁あてに告発しましたが、これに対して本年5月31日付でいずれも不起訴処分とするとの通知がありました。

これを受けて、区議会では、その対応について慎重に検討を重ねていたところ、7月21日に**「東京地方検察庁がした不起訴処分に対する検察審査会への不服申立てを求める請願」が議長あて提出されました。**

請願は議会運営委員会において審査することとし、紹介議員から趣旨説明があり、

「不服申立ては、告発した当事者である区議会にしかできない。検察審査会は時間も費用も掛からず、健全な市民感覚での判断を仰げるため、不服申立てすべきである」との意見がありました。

その後、委員会で検討を重ねた結果、委員からは、

「背景や原因を明らかにし、再発防止策を講ずるという100条調査の目的は、すでに達成されている」こと、

「検察審査会への不服申立てをしたとしても、新たな証拠を提出しない限り、起訴処分までの到達は困難である」こと、

また、「**不服申立てをすとなれば、さらに時間と経費を費やすこととなり、区民の理解が得られないのではないか**」

「検察のこの度の決定は至極妥当なものであり、覆しようのないものである」こと

さらに、「**新型コロナウイルス感染症対策を最優先すべき現下の状況では、区民の生命と生活を守るための取り組みが最も重要である**」こと

などの意見が大勢を占め、**区議会としては、検察審査会への不服申立てはしないことが妥当であるとの判断に至りました。**

今後とも、区に対して適切な事務執行を求めるとともに、議会の権能のもと、チェックをし続けることが務めであると考えており、引き続き区議会として、その役割を果たしてまいります。

令和3年10月13日 千代田区議会議長 桜井 ただし

可決した決議

北朝鮮による弾道ミサイルの発射に対して抗議する決議

令和3年9月15日、朝鮮民主主義人民共和国による弾道ミサイルの発射が政府により確認された。

同国は、日本を含む全世界からの強い抗議要請にも関わらず度重なる弾道ミサイルの発射を行い、今回も我国の排他的経済水域内へ着水したとみられ、看過できない極めて深刻な事態である。

これは、恒久平和を希求する全世界の人々の願いを蹂躪する行為であり、国際社会の平和と安全を著しく損なう行為である。

千代田区議会としては「国際平和都市千代田区宣言」のもと、このような平和と安全を脅かす暴挙を容認することはできない。

よって、今回の同国の行為に対して厳重に抗議する。
以上、決議する。

令和3年9月16日 千代田区議会

議会運営に関する変更点

1 特別職への常任委員会出席依頼について

千代田区議会委員会条例第17条に基づき、令和3年第3回定例会から、常任委員会における議案審査の際、区長、副区長及び教育長へ出席を依頼することとなりました。

今定例会については、次の委員会へ出席依頼をしました。

- 区長 9月21日(火) 企画総務委員会
- 副区長 9月17日(金) 地域文教委員会



2 決算審査時における議選監査委員について

議選監査委員は、予算・決算特別委員会及び分科会へは従前どおり出席して質疑を行うが、各会計決算の認定についての議案に係る委員会及び本会議における採決時には、いずれも退席することとなりました。



要望書の提出

「令和3年度新型コロナウイルス感染症に関する緊急要望書」を区に提出

令和3年9月8日、千代田区議会災害対策支援本部(新型コロナウイルス)は、区へ7回目となる緊急申し入れを行いました。感染者の高止まりに加え、在宅療養者数の増加など、状況の好転の兆しが見えなかったことから、千代田区議会の各会派から寄せられた緊急要望書を提出しました。



(写真左から) 前副区長/区長/議長/副議長

政治家の寄附行為は禁止されています。

政治家(公職の候補者等)は、選挙区内の人や団体にお金や物品を贈ることは、時期や理由を問わず禁止されています。

有権者が寄附をするよう勧誘または要求することも禁止されています。コロナ禍が一段落するなか、年末年始を迎え、地域の行事、会合に政治家(公職の候補者等)が出席することがあります。ご注意ください。

これらの行為は全て禁止です!



委員会で取り扱った請願・陳情（令和3年7月15日～令和3年11月2日） 詳細は、区議会ホームページでご覧になれます。

請 願 ・ 陳 情 名 (受付順に掲載)	送付委員会 () は参考送付	審査状況 (令和3年11月2日時点)
外神田一丁目1、2、3番地市街地再開発事業の再検討を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会 ※企画総務委員会から送付替え	継続審査
千代田区外神田一丁目南部地区再開発事業に関する陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
沖縄戦犠牲者の遺骨を含む土砂を埋め立てに使用しないよう求める陳情	企画総務委員会	継続審査
清掃事務所を区のものとして建設するよう求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
再開発共同化に係る合意形成のルールを条例として作ることを求めます	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
外神田一丁目南部地区再開発事業の早期推進を求める陳情	(環境・まちづくり特別委員会)	継続審査
千代田区外神田一丁目南部地区再開発事業に関する陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
東京地方検察庁がした不起訴処分に対する検察審査会への不服申立てを求める請願	議会運営委員会	審査終了
千代田区における医療的ケア児に対する支援の拡充の陳情	地域文教委員会	継続審査
神田警察通りの今ある街路樹について直接意見を聞く場を設けてください	企画総務委員会	審査終了
六番町偶数番地地区の地区計画に関する陳情書	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
「安全で快適な千代田区の生活環境の整備に関する条例」の適用についての陳情	(地域文教委員会)	審査終了
沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を辺野古新基地建設の埋め立て等に使用しないよう求める意見書を国へ提出することについて	企画総務委員会	継続審査
外神田一丁目南部地区再開発事業の慎重な調査・検討を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
令和4年度シルバートレーニングスタジオの予算に関する陳情	保健福祉委員会	審査終了
沖縄戦で犠牲になられた方々の遺骨を埋め立てに絶対に使用しないことを求める陳情書	企画総務委員会	継続審査

令和3年第3回定例区議会 会期日程〈会期:9/8～10/13までの36日間〉

月/日	本会議・委員会関係日程	月/日	本会議・委員会関係日程
9/ 8	議会運営委員会	9/28	予算・決算特別委員会(地域文教分科会)
	本会議(会期の決定・区長招集あいさつ等)		予算・決算特別委員会(保健福祉分科会)
9	議会運営委員会	29	議会のあり方調査検討特別委員会
	議会運営委員会		公共施設調査・整備特別委員会
15	本会議(代表質問・一般質問)	30	災害対策・危機管理特別委員会
	議会運営委員会		環境・まちづくり特別委員会
16	本会議(一般質問・議案の付託等)	10/ 1	議会運営委員会
	地域文教委員会		予算・決算特別委員会(総括)
17	保健福祉委員会	4	議会運営委員会
	企画総務委員会		予算・決算特別委員会(総括)
21	予算・決算特別委員会	6	議会運営委員会
	議会運営委員会		企画総務委員会
22	予算・決算特別委員会(企画総務分科会)	7	地域文教委員会
	予算・決算特別委員会(地域文教分科会)		保健福祉委員会
24	予算・決算特別委員会(企画総務分科会)	12	議会運営委員会
	予算・決算特別委員会(保健福祉分科会)		議会運営委員会
27	本会議(議案の議決等)	13	本会議(議案の議決等)

7月～9月の主な活動

月/日	日 程	月/日	日 程
7/13	保健福祉委員会	8/25	企画総務委員会
	議会運営委員会		地域文教委員会
	環境・まちづくり特別委員会		保健福祉委員会
15	地域文教委員会	9/ 1	議会運営委員会
19	区民集会運営協議会		〈令和3年第3回千代田区議会定例会告示日〉
20	企画総務委員会	2	政務活動費交付額等審査会
21	議会運営委員会	7	議会運営委員会
30	環境・まちづくり特別委員会	8	要望書提出(新型コロナウイルス感染症に関する緊急要望について)

議案の審議結果等 (令和3年第3回定例区議会)

可…可決、否…否決、不…不採択、
○…賛成、×…反対、退…退席、

議員名等 ※議員名の下段は、会派名略称	出席者数	投票数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	議決月日
						小野なりこ	岩佐りょう子	長谷川みえこ	小枝すみ子	秋谷こうき	岩田かずひと	桜井ただし	うがい友義	西岡めぐみ	飯島和子	牛尾こうじろう	木村正明	大坂隆洋	池田ともり	山田丈夫	欠員	永田壮一	たかざわ秀行	米田かずや	大串ひろやす	林則行	嶋秀彦	河合良郎	小林やすお	小林たかや	
議員提出議案	北朝鮮による弾道ミサイルの発射に対して抗議する決議	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9/16
	成年年齢引き下げに伴う十代の消費者被害防止のための措置を求める意見書	22	21	8	13	否	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	10/13	
区長提出議案	千代田区副区長の選任の同意について	24	23	17	6	可	無記名投票										無記名投票										10/13				
	千代田区教育委員会委員の任命の同意について	24	23	23	0	可	無記名投票										無記名投票										10/13				
	令和3年度千代田区一般会計補正予算第3号	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/13
	令和2年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定について	23	22	16	6	可	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/13
	千代田区個人情報保護条例の一部を改正する条例	24	23	16	7	可	○	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/13
	千代田区個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	24	23	16	7	可	○	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/13
	千代田区の行政委員会委員並びに非常勤の監査委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/13
	千代田区手数料条例の一部を改正する条例	24	23	16	7	可	○	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/13
	千代田区地球温暖化対策条例の一部を改正する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/13
	神田警察通りII期自転車通行環境整備工事請負契約について	24	23	17	6	可	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/13
	千代田区立図書館の指定管理者の指定について	24	23	20	3	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/13
	千代田区立九段生涯学習館の指定管理者の指定について	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/13
	千代田区立スポーツセンターの指定管理者の指定について	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/13
令和3年度千代田区一般会計補正予算第4号	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/13
請願	東京地方検察庁がした不起訴処分に対する検察審査会への不服申立てを求める請願	23	22	1	21	不	×	×	退	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	10/13	
報告	令和2年度千代田区財政健全化判断比率について																										9/16				
	専決処分により訴えの提起をした件について																										9/16				
	損害賠償請求事件に関し専決処分により和解した件について																										9/16				
	損害賠償請求事件に関し専決処分により和解した件について																										10/13				

※ 議選監査委員のため退席

◆ 千代田区議会議員 条例定数25名 現員数24名 欠員1名

◇ 会派名 千代田区議会 自由民主党(自民) / 日本共産党区議団(共産) / 公明党議員団(公明) / 千代田を紡ぐ会(紡ぐ会) / ちよだの声(声) / 立憲民主党 新生ちよだ(立民) / 立憲政策フォーラム(立憲) / 都民ファーストの会 千代田区議会(都ファ) / 千代田至誠会(至誠会)

■ 政務活動費の使途について

区議会では、住民訴訟判決及び政務活動費交付額等審査会の答申を受け、使途基準等の見直しに取り組みできました。その取組みの概要を区議会ホームページに掲載しました。今後も、使途の透明性の確保に努めていきます。



■ 令和3年第4回定例会の主な日程

11月17日(水) …招集日

11月24日(水) …代表・一般質問

11月25日(木) …一般質問

12月9日(木) …継続会

変更となる場合もございます。詳細は区議会HPをご覧ください。

■ 区議会だより編集委員会の構成

◎委員長 ○副委員長

◎山田 丈夫 (自民) 西岡 めぐみ (自民)

○河合 良郎 (自民) 牛尾 こうじろう (共産)

小野 なりこ (都ファ) 大坂 隆洋 (自民)

長谷川 みえこ (紡ぐ会) 池田 ともり (自民)

岩田 かずひと (立民) 米田 かずや (公明)

うがい 友義 (自民)

第3回定例会において、9月11日に区役所前で起こった交通事故により亡くなられた方々のご冥福を祈り、全議員が本会議場で黙祷を捧げました。